

「小規模でも儲かる農業を目指して」

参鍋 昇平 (40 歳)
(四国中央市)

U ターン



1 就農の動機・理由

実家が全羽平飼いの特殊な飼育方法で採卵養鶏場を経営しており、資機材が一式揃っていた。この養鶏場がこのままなくなってしまうのは名残り惜しいと感じ、一度挑戦してみたいという思いから実家の養鶏業を継ぐ決意をした。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和 2 年)	現在の経営 (令和 7 年)	将来の経営 (令和 10 年)
労働力	男 2 人 (本人、父) 女 1 人 (母)	男 2 人 (本人：代表取締役、 取締役)	男 2 人 (本人：代表取締役、 取締役)
経営内容	採卵鶏 2,000 羽	法人経営 採卵鶏 3,000 羽	法人経営 採卵鶏 3,000 羽

○農業用施設

畜舎 (平飼い)	4 棟
飼料タンク 6 t	2 基
堆肥舎	1 棟

○主要農業機械

運搬車 2 t	1 台
ボブキャット	1 台
軽トラ	1 台
軽バン	1 台

給餌機	3 台
管理機	1 台
攪拌機	2 台
堆肥用ブロワー	1 台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県四国中央市

職歴 映像制作会社 6 年

鉄工所 2 年等

就農研修歴 なし

就農年月 令和 2 年 4 月

(2) 就農時の思い

コロナ禍もあり、両親が養鶏業で生計が立たず、辞めようとしていたので不安はあったが、一つの職業として向き合って挑戦してみたいという気持ちが強くなり就農した。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

両親の指導や養鶏に関するレポート、YouTube などから学び、実践した。

また、青年農業者連絡協議会養鶏部会の定例会等に参加し、積極的に会員から情報収集を行っている。

(2) 資金の準備

中小企業診断士等に相談し、クラウドファンディングや事業継承再構築補助金などを活用し、農業経営を開始した。

(3) 農地・住宅の確保

両親と同居しているため、特に準備する必要はなかった。

(4) その他苦労したこと

就農時、鶏舎や機械等の老朽化が激しく、修繕や更新が大変であった。

また、養鶏の経験もなかったため、就農した当初はすべての作業が大変であった。

5 農業経営の特徴

鶏達にとって過ごしやすい自然に近い環境づくりを心掛け大切に育てている。全羽平飼いや自家配合のエサの開発、積極的に直売所で販売を行うなど、さまざまな工夫をしている。

6 これからの夢

鶏にストレスがかからないように飼育した安心安全な卵を販売している。販路を拡大していき、この卵をより多くの消費者に届けられるように、魅力を伝えていきたい。

7 成功したキーポイント

日頃から人とのつながりを大切にしており、周囲の多くの人に助けてもらった。

8 就農を目指す方へのアドバイス

積極的に多くの人と交流し、人脈作りを心がけてください。また、就農前に商品の値段や販売先、ターゲットなどを決めておくことと今後の計画が立てやすいと思います。

○ 指導機関からのひとこと

参鍋さんは安心安全な卵を皆さんにお届けしたいという思いのもと、試行錯誤しながら養鶏業に励んでいます。

今後、ご自身の経営及び地域農業の維持・発展に尽力されることを期待しています。

執筆機関

東予地方局農業振興課地域農業育成室
四国中央農業指導班
電話番号 0896-23-2394



参鍋養鶏の鶏達